

<ご参考:「南三陸から」Vol.1/2/3 について>

『南三陸から 2011.3.11～2011.9.11』

東日本大震災で失った物や失った人を、悼みながらも前へ歩もうとする南三陸町の人々。そんな彼らと故郷の姿を2011.3.11～2011.9.11の半年間、自らも被災者である佐藤信一さんが撮り続けた写真集です。震災に対する悲しみや怒りを淡々と表現し、同じ被災者であるからこそ撮り得た、よそ行きではない人々の姿の写真が評価され、第43回 講談社出版文化賞「写真賞」を受賞いたしました。

『南三陸から vol.2 2011.9.11～2012.3.11』

第1弾の続編として、2011.9.11から、様々な想いを抱えて迎えた2012.3.11の追悼式までを記録した写真で綴るフォトレターです。故郷と大切な人々の姿を未来に残す希望の写真集であり、10年スパンの復興に際し、求められるのは「つづいていくこと」とであるという考えのもと、刊行いたしました。

『南三陸から vol.3 2012.3.11～2013.3.11』

被災地を訪れる人が少なくなってきていた中で、ひとりでも多くの人に訪れてほしいと願いながら綴った佐藤さんの手紙と写真で、南三陸の魅力を伝えること。そして被災地の現状を伝えるだけでなく、ガイドブックとして観光誘致の支援になることも目的として、刊行いたしました。

<ご参考:第1弾『南三陸から 2011.3.11～2011.9.11』写真集収録内容>

